

## 令和2年度 第1回社会教育委員会会議録

開催日時：令和2年7月14日（火）

午後1時30分～午後3時30分

開催場所：恵那市役所会議棟 大議室

- ・開会
- ・あいさつ
- ・委嘱書の交付
- ・自己紹介
- ・社会教育委員の役割について
- ・議題
  1. 令和元年度第6回社会教育委員会会議録について
  2. 令和2年度恵那市社会教育委員会の活動内容について
    - (1) 年間主要活動スケジュールについて
    - (2) 主な活動内容について
- 【柱1】恵那市家庭教育支援計画の見直し
- 【柱2】提言書～三学塾塾長の役割と共通活動について～の状況確認
- 【柱3】地域学校協働活動の推進
- ・その他
- ・あいさつ
- ・出席者の数：社会教育委員14人中13人、事務局5人（以下のとおり）

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	三学のまち推進委員会委員	出席
2	副委員長	磯部 彰	図書館協議会	出席
3	委員	山内 正一	学識経験者	出席
4	委員	山田 恵市	文化振興会	出席
5	委員	鈴木 正司	恵那市青少年育成市民会議	出席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	縄田 麻里子 (伊藤正明代理)	民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	柘植 弘成	壮健クラブ連合会	出席
9	委員	松村 通男	NPO まちづくり団体	出席

10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	欠席
12	委員	水野 宏昭	恵那ライオンズクラブ	出席
13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	篠原 徹	校長会代表	出席

#### 事務局

1	教育長	大畑 雅幸	恵那市教育委員会	出席
2	課長	鷹見 健司	生涯学習課	出席
3	課長補佐兼係長	新村 宏一	〃	出席
4	主任	加藤 視也	〃	出席
5	社会教育指導員	遠藤 滋	〃	出席
6	〃	堀 春美	〃	出席
7	〃	和田 克子	〃	欠席

#### ・開会

##### (事務局)

定刻になりましたので、これより令和2年度第1回恵那市社会教育委員会を開催させていただきます。私は、当委員会事務局を担当しております生涯学習課の新村と申します。議題の進行は、恵那市社会教育委員条例の規定により、林委員長が務めることになっていますが、議題までの間、私の方で司会進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、会議室入室前の「検温」及び「手指の消毒」にご協力いただきありがとうございます。また会議中の「マスクの着用」にもご協力いただくようお願いいたします。会議時間も90分以内を目安に行いたいと思いますので、皆さまのご協力をお願いします。

例年ですと慣例により、会議次第の裏面に記載した「市民憲章」「三学のまち恵那宣言」の唱和を開会前に行っておりましたが、飛沫感染防止のため、中止とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、事務局を代表しまして、生涯学習課の鷹見課長よりご挨拶を申し上げます。

#### ・あいさつ（生涯学習課長）

皆さま、改めましてお疲れ様です。令和2年度の第1回恵那市社会教育委員会を開催したところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。14名の皆さま本当に1年間よろしくお願いいたします。それぞれ社会教育に携わる、そしてまた関係する広い分野から選出をいただきまして、また、新たに委員になられたお二人の2名の方、ご指導をいただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。委員の皆さまは、法令的

には恵那市の非常勤の特別職という立場になりまして、年に6回程度の会議やら打ち合わせ、イベントの出席などをでていただくこととなりますけども、様々な議題に応じて、ご意見や、ご指導いただくこととなります。6月の28日の日曜日に、本当に開催するかどうか迷いましたけれども、第16回になる恵那市少年の主張大会というものを文化センター大ホールで、三密対策、衛生対策をとったうえで、80名の方にご観覧いただくというような形で開催をさせていただきました。またその都度、社会教育委員にもそのことに関して、ご意見をいただく機会をいただければいいかなというふうに考えておりますのでよろしくお願いいたします。今日の次第、配布資料はその通りですが、このような状況もあるので、委嘱書については、本来教育長がお一人お一人に委嘱するのが本意であります、このような状況下ですので、机上での配布にかえさせていただきましたので、ご容赦いただきたいと思います。一年間、私も皆さまとこのようなご縁をいただいておりますので、このご縁をなんとか私の職務や事務局に生かせるように、私も努力をしていきたいと考えておりますので、どうか皆さまよろしくをお願いいたします。

#### ・あいさつ（委員長）

こんにちは。連日、すごい雨で大雨警報とか、洪水警報とか、非難勧告とか、このような状況がずっと続いておりますけど、100年に一回というような、私も経験したことのないような状況ですが、九州とかあちらの方はひどいなど、恵那は良かったかなと思っていたわけですけど、現実は大変だと感じているところです。特に地滑りで大変で、白川線の久須見のところが崩れて、こないだの雨は1時間に100ミリ以上降ったのではないかと、それぐらいひどい雨が、それが原因で崩れたのだと、それまではどうってことはなかったのですが、雨を含んで、急激に降ったことが原因で、現実になると本当に怖いなど体験して初めてわかりました。もう一つはコロナの関係上、3月のまとめの会ができなくて残念でした。しかし、去年1年間、三学塾塾長の役割ということで、生涯学習課から諮問を受けて、社会教育委員会で検討しながら、教育長に最後の会で提言書を出すことができた、それが一番大きな成果であったと思います。それから新人の新しくなられた社会教育委員の方は、まず1年目2年目は、社会教育委員会とは何をやるのかということ覚えていただき、勉強していただける機会かと思っておりますので、そういった姿勢で覚えていただければと思います。そして3年目以降の方は2期、3期、4期と続けていただきたい、そのように思います。

#### ・委嘱書交付

※委嘱書は新型コロナウイルス感染症対策のため机上配布で対応。

（事務局）

今年度より新たに委員として加わった方を紹介。最初に校長会を代表しまして、恵那北中学校長の篠原徹様、続きまして恵那市スポーツ推進連絡協議会から阪上美代子様、以上2名の方が新規委員とされます。

続きまして、再任の委員の方を紹介。NPOまちづくり団体から松村通男様、放課後子ども教室コーディネーターから田口容子様、それぞれ任期は異なりますが何卒よろしくをお願いします。

・自己紹介  
(事務局)

伊藤正明様が体調不良により、当面の間、委員会に出席できないため、民生委員児童委員協議会の副会長の縄田麻里子様が代理で職にあられること、各務周和子様が欠席であることを説明。

※各委員より自己紹介を実施。

・社会教育委員の役割について  
(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

・議題

1. 令和元年度第6回社会教育委員会会議録承認について  
(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

(委員長)

どうでしょうか。事前に読まれてきていただいていると思いますが、私の分は事務局に渡しました。

よろしいでしょうか。もし訂正とか意見があれば明日までに事務局の方にご連絡していただくようお願いします。

議題1はこれで終わりたいと思います。

2. 令和2年度恵那市社会教育委員会の活動内容について

(1) 年間主要活動スケジュールについて

(委員長)

資料4、年間主要活動スケジュールについて事務局説明をお願いします。

(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

(委員長)

東海北陸の社会教育大会、例年こちらに参加しているので、東海市で開催されるかどうか、そちらを確認してもらい、出席するかどうか、決まりましたらまた連絡をお願いします。

(事務局)

その件は、再度県に確認して、おって皆さまにお知らせします。

(委員長)

そのほかに例年やっていることとか、こちらに載っていないことがありましたら意見ををお願いします。

毎年、ここで開催していた8月頃に行事があったと思いますが、どうでしょうか。

(事務局)

毎年8月に生涯学習フォーラムを開催しておりますが、今年度は新型コロナの影響により中止としております。

委員長が言われた東海市の社会教育研究大会、10月の15、16の2日間にわたって予定されていますが、まだ開催の方向性はでていない状況です。

(委員長)

8月の生涯学習フォーラムは中止、10月の東海市の社会教育研究大会はわかり次第連絡をお願いします。

(2) 主な活動内容について

【柱1】 恵那市家庭教育支援計画の見直し

(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

(委員長)

説明がありましたとおり、家庭教育支援計画の見直しをしなければなりません、今策定部会メンバーに社会教育委員会から、森川さん、田口さん、各務さんの3人を推薦している、ということでご意見ないでしょうか。

(委員)

この両計画を踏まえてということで、行政や地域、学校などが連携してとっていますが、子ども教室では田口委員が入っていますし、乳幼児というところでは良いと思うのですが、学校などがというところで考えると、学校の先生方にも入ってもらった方が良いと思うのですがいかかでしょうか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。教育委員会事務局の各課も構成に入っていますので、学校教育課を通じてそのように働きかけをしていきたいと考えております。

(委員長)

そういったことで、学校関係者も入るということでお願いします。

社会教育委員会から3名の委員が参加することに関して、承認いただければ拍手をお願いします。【満場一致】

他に委員に入ってほしいような、家庭教育のバックボーンとなるような方はどうか。

民生児童委員の方とかはどうでしょうか。

(委員)

幼児教育課とか生涯学習課とか教育委員会以外で、健康推進課とか子育て支援課とかも入ってもらっているのですその辺は良いかと思います。民生児童委員の方が兼ねている方も見えるのでいいと思います。

(委員長)

壮健クラブは入らなくていいでしょうか。

(委員)

前までは65歳からが老人だったけど、今は75歳からとなってきた。そういった流れからすると、社会教育委員としての立場とか考えるところはあるが、家庭教育の活動の中で関りがもてれば良いと思う。このメンバーに入らなくても良いと思う。

(委員長)

私は今、孫の世話をしているのだけど、そういった立場の人がメンバーに入っても良いのではないかと思うところがある。それに対して意見はいかがですか。

(委員)

子供の成長とか、その辺りで知っている方、そういった実態を知っている方がいればそれで良いと思われる。恵那市の子供といったことだけでなく、一般的なところを知っている方、そのどちらを人選するかといったところかと思う。

(委員長)

今回は、恵那市の家庭教育支援計画の策定なので、そういったことで特色のあるものと考えられるがどうでしょうか。

(事務局)

すでに第4期の家庭教育支援計画があるので、第5期では乳幼児期の家庭教育にスポットをあてまして、そういった形の計画にしていきたいと考えております。子育て支援のところもあるのですが、子育て支援の計画は昨年度できあがっているのです、そういう形ですので、計画の中ですみ分けをしてきたいとそのように考えています。

(委員)

ただ、それ何だけど乳幼児のとこだけの話をするのでなくて、ここの学校というところが重要であって、子供の成長の中で特にそうだけど、家庭のことと現状がどうなのか、1年を振り返ってどうなのか、そういった観点で見直しをしていくと良いと思う。

(委員長)

今の時代、状況が違うところはあるにして、家庭での躾や小学生の時に躾の出来ているのと、そうでないのでは違うので、その辺が大事だと思うのですがどうでしょうか。

(委員)

子供の躾も大事ですけど、時代が違うという話もありますけど、親御さんの考え方が違ってきているので、下手なことを言えないというか、お母さんに対して子供も、その友達にも躾が大事だと、私もあなたのお母さんだと、ちょっと自分で言う自分の子供に対してどうだったか、反省もあります。

(委員長)

家庭教育支援の中で、親の育成というか、そういった観点も大事であるということなので、メンバー構成に関しても考えを言っていただければと思います。

(事務局)

今回は案という形で示させていただきましたが、先ずはこのメンバーでスタートさせていただきたいと思います。コミュニティセンターの主事にも参加していただいておりますし、現在、子育て中の委員の方にもメンバーに入らせていただいているので部会を進めながら、その中で新たなメンバーが必要であれば臨機応援に対応していきたいと考えております。

(委員長)

今いただいた意見を参考にしながら、この構成で部会を進めていただければと思います。よろしく申し上げます。

【柱2】提言書～三学塾塾長の役割と共通活動について～の状況確認

【柱3】地域学校協働活動の推進

(事務局)

※事務局からの資料に基づき説明。

(委員長)

ありがとうございました。今、柱2と柱3のコミュニティセンターの塾長がどのように働いているのか、地域学校協働活動について説明がありました。

委員の皆さまには、現地で話を聞き、見ていただけるといいと、そういう形によろしいですか。

(事務局)

昨年度、提言をしていただいて、社会教育委員がやっぱり注目していると、意識していただいて、来年度から新たな取り組みとして確認していますので、そういった形で行いたいと思います。

(委員長)

実際にどう活動しているのか、見てみないとわからないので、できれば一ヶ所ぐらいは見ておきたいということですが、ご意見ありませんでしょうか。

(委員)

山岡でまちづくりに関わっていますが、良い取り組みだと思います。

(事務局)

山岡コミセンの塾長は、地域学校協働活動の運営協議会の会長もやっておられて、特にNPO団体の副理事長もやっておみえで、今後キーマンになって、地域を引っ張って先頭をきってやっていただけたらと思っています。

(委員長)

そういった方にもコミセンの現地確認に参加していただけたらいいと思います。他にないでしょうか。

(委員)

提言がでて、私も1年委員を務めただけなので、初めてそういった形で現場を見ることは良いことだと、それでまた話を前に進めていけたらと思います。

(委員)

コロナのせいでシュンとしてしまって、実際、子供たちに伝統行事とかやらせたいと思ってても全てできなくなって、今年だけならともかく、来年もとなったら、ずっとそのまま続くような心配があつて、本当にできるのかとそれを心配するばかりです。例えば、缶蹴りとか縄跳びでも良いが、昔は地域で学校の中の縦系列でやれていたけど、そういったことがなくなって、伝統的なことが繋がっていかなくなった。遊びを教える機会はあるのだが、そういったことが繋がっていくのか、学校の先生方もそういった遊びを取り入れるとか、三郷でもそうですが、どっかが突破口となって進めていけると有難いと思っています。提言の方向性としては良いと思います。ただ、地域の行事とかも衰退していく方向で、獅子舞とかの伝統芸能とかもどうするのか、知恵を絞って頑張っていくしかないと思っています。

(委員)

子供たちもバラバラな感じはするので、イベントとかできっかけを作るのは大事だと思います。自分の子供も小さなときに、教育委員会主催の竹とんぼ作りとかにも参加させてもらって、地域での活動にも参加し、そういったことで繋がっていた感じがしていた。そういったことが無くなるにつれ、地域のお年寄りや子供たちの親との繋がりも無くなっていったので、それが辛いと感じた時期があつた。そのことから家庭教育は大事だと思っていました。継続できる何かがあれば良いと思います。

(事務局)

活動の一つの狙いで、継続、その活動を継続していくこと、大きな狙いの三つの一つでもあるので、何とかそういう方向で続けていきたいと考えております。

(委員)

三郷という話があるので、他から50年前に来たものですが、財産区は三つ、神社は五つ、それから自治会は一応三つに分かれています。非常に集まりは良いが、壮健クラブも地域でばらつきがあつて、財産区も生産森林組合があるが、社会教育委員会でメスを入れていただくことは良いことだと思っている。地域自治区があつて、自治会もある中で地域がどうあるべきか、底辺のところまで入っていけると良いと思います。神社のこと、水、山、そういった地域の細かなとこまで考えて議論できるとプラスに向かうのではないかと思います。

(委員長)

そういったことで、地域のコミュニティセンターが中心となって、そこで色んなことを取り組まないと地域が纏まらない。そのことから地域学校協働活動で地域が動いて、そこからまちづくりに繋がっていく、そうなるが良いと思います。地域の纏まりをいかに作っていくのか、塾長の役割は大きいと思います。



(委員)

10年ぐらい前から読み聞かせとか紙芝居のボランティアに関わっていますが、当初は各子供会から、年に1、2回は声を掛けてもらっていたのですが、最近ではそういうのが全くなくなってきている、聞いてみますと、子供会の活動が無くなってきていると、無いところでやるわけにはいかないのです、私ずっと図書館に関係していますので、図書館で読み聞かせや紙芝居をやっております。ところが、こちら参加者がだんだん減ってきて、先ず土曜日にやっていますが、結局、子供が忙しくなったこともありますけれども、親が忙しくなって連れてこれられないということが最大の事情ですね。私は、読み聞かせや紙芝居を終えて、最後に来週もやりますからまた来てくださいね、と親の顔を見ながら言っているのですが、親がうんとうなずいてくれれば、次も来てくれるってことで、だからどんな子どもに関する活動をやるにしても、やっぱり親を取り込んでいくこと、それが最大の事じゃないかなと思う。色んな観点から、とにかく進めていける環境を作ることが大事であると感じる。

(事務局)

学校運営協議会でもそういった話はできます。親の世代をもうちょっと、関心を高くさせないと、子供にそういう現状がでていっている中、親の考え方がまさに子供の姿に出てくるよと、特に話題になっています。

(委員長)

そういったことで、これからの家庭教育支援計画の中で、次の具体化、立てるところまではいいのだが、その具体化をどういう方法で具現化していくか、次の見通しを立てた計画としていかないといけないと思います。最後に地域学校協働活動について、いかがでしょうか。

(委員)

笠置では、地域学校協働活動委員会が立ち上がりましたので参加させていただきました。市内で一番だったと思いますが、学校としては支援していただけるということで大変ありがたいと思っておりますし、学校の方としても積極的に地域の方に入っていきたいと思っているのですが、ただ先ほどありましたように地域の行事がどんどん衰退して、子供を出す機会も少なくなっているのが現状だと思います。

(委員)

すごく恵那市が、地域学校協働活動で進んでいることは大変嬉しく、話を聞いて勉強させてもらいました。なかなか地域の人も学校には協力したいといった気持ちはあってもなかなか自分たちが主導権を握ってといった形での活動には、なかなか難しさがあったと思いますが、推進員という方を作りながら、そうな形で進めていければ楽しいなことで、今度の三郷も見させてもらって勉強させてもらうことは大事なことだと思います。

(委員)

学校運営協議会のメンバーですが、入っていただける推進員を作っていたらと有

難しいなという思いと、学校によってカラーが全然違って、保護者の方の理解を得られることが大事であって、ちょっと目立ったことをすると保護者の方から連絡がきてしまうので、そういった面でも地域とうまく結びつきが出来ると思いいます。

(委員長)

地域ぐるみで指導できればやりやすくなると思います。地域の学校だよと、そうなることで一緒にやろうかといったことに繋がってくる。協力的な人も増えてくると思う。

地域学校協働活動が非常に重要になってくる、地域ぐるみ、地域が纏まる、活性化にもなる、どう 13 地域のコミュニティに広めていくか。大井はどうか。

(事務局)

大井は、主任児童員が中心となって進めていくと聞いています。

(委員長)

笠置では進めているが、最終的には笠周でひとつに纏めていきたいと、恵那北中は三つでできているので、こども園も取り込んでいいと思っている。状況をみながら、少しずつ少しずつ進めていく、そうやって頑張っていきたい。教育長も積極的に進めるといっていただいているので、地域のコミュニティでそういった流れを作っていただけると有難いなと、そのためには社会教育委員の活躍が大事になってきますのでご協力をよろしくをお願いします。

・あいさつ (教育長)

社会教育委員の皆さまこんにちは、お忙しいところ、この会議にご出席いただきありがとうございます。今日この会議、遅れてまいりましたのは、岐阜市まで出張してきました。たまたま今、東濃 5 市の教育長会長をやらしていただいているので、理事ということで、県教育委員会のそれぞれの一番の部署のトップの方々との懇談会でいろいろと質問事項を事前に知らせてありますので、それについて回答していただき、相談をしてきたわけです。今年は 3 月、4 月、5 月とざっと 3 ヶ月、思わぬ新型コロナで臨時休業になりました。そのこともあり、いわゆる積み残した部分は確実にやる必要があると、今年は何でもかんでもコロナの影響で、物事が中止になったり、省略されたりしますが、子供たちにとっては一生それを背負っていくわけで、大事な時期にこういう状況であったので、その部分がおろそかになっている。だから自分はなかなか力を発揮できないのだと、そのことが言い訳にならないようにする必要があります。岐阜市の方では、一言で言えば格差が無茶苦茶大きくなったという話がありました。子供たちが家におかたで、教育熱の高いご家庭は、例えばベネッセだとか Z 会だとか、いわゆる通信教育の大手のところの教材を使って、学校にいる以上に力をつけている。反面、何もしていない子供は楽になって、もっぱらゲーム三昧、生活習慣そのものもおかしくなっている。恵那市でもそうです。保護者の方からの意見で、長い休みのなかで生活習慣が崩れてしまってゲームばかりやって、6 月から学校が始まって、そのギャップで精神的に不安定になりカウンセラーをつけてくださいと、こういう話になっていってしまうのです

ね。もちろん学校の方も色々とホームページだとか電話をかけたり家庭訪問だったり働きかけしましたが、やはりこの家庭教育の部分、生活自体はやっぱり、家庭で行っていただく必要があると思います。今年度策定する家庭教育支援計画は、その辺も考慮して進めていく必要があると思います。社会教育委員会でも、何か効果的なことを生み出していただければありがたいというふうに思っております。

また地域学校協働活動ですが、これは文科省が推奨しており、多分、近隣市ではどこもまだ手をつけてないと思います。恵那市が今やりかけたところです。この活動がきっかけとなり、形になってくることで、子供の数は減っていくかもしれませんが、恵那市の跡継ぎを育てていくことになるのではないかとこのように思っています。今年、笠置地域が中心となって積極的に推進していただいています。また上矢作では一つ新しい取り組みができました。現在、教育委員会では地域未来塾という名前をつけて北中の体育館の2階、それから恵南の方は、岩村コミと山岡コミでわかれてやっていますが、教員OBの方々にご支援いただいて、中学3年生の学習機会の提供を行っています。それを受け、上矢作では今年から独自で地域未来塾を作っていただいて、教員OBの方がやりはじめてくださったので、これはありがたいと思っています。このような取り組みが、地域で自主的に実施できるようになれば、やがてこれが勉強だけじゃなく、スポーツや色んなことに広がって、要するに学校運営協議会や地域学校協働活動が中心となって、良い動きになっていくのではないかとこのように思っています。そんなことを目標にしながら進めたいと思いますので、中心になっていただくのが、ここにお見えの社会教育委員の方々なので、是非ともそれぞれの所属している組織であったり、地域であったり、そういうところで、恵那市社会教育委員会で目指していることはこういうことだというようなことを啓発していただいて、進めていただければ有難いなという風に思っております。どうぞ本年度1年間よろしくお願ひします。今日はありがとうございました。

令和2年7月14日（火）  
社会教育委員 林 達夫  
社会教育委員 磯部 彰